

JA だより



—自然のぬくもりと暮らしたくて—

第70回 しずない農業協同組合通常総会

桜コミュニケーション 自然のぬくもりと暮らしたくて



第70回 JAしずない通常総会

第70回 しずない農業協同組合通常総会開催

全4議案原案通り可決される



農業用ビニールハウス・簡易パイプ牛舎・倉庫等が倒壊、半壊等甚大な被害に見舞われました。被害に遭われた組合員の皆様には心からお見舞い申し上げます。

当組合として雪害に対し直ちに「ハウス等雪害倒壊対策室」を設置し、行政の「新ひだか町大雪農業対策本部」を中心に被災農家の調査を行い支援活動に急務致しました。また早期復旧にご尽力を受け賜りました北海道庁及び日高振興局、新ひだか町及び系統、連合会また、各方面からのボランティアの方々等による多くのご支援を賜りましたことに、心より感謝とお礼を申し上げます。

被害状況としては農業用のビニールハウス ミニトマト・ほうれん草で41戸241棟、肉牛等簡易牛舎12戸17棟が倒壊や破損の被害を受けました。JA試算による被害額はハウスの撤去、再建など費用として7億4000万円、成果物の損出額が2億1000万円となり、被害総額で9億5000万円となる甚大な被害に対し、町・道・国・系統に早急な復旧支援の要請をしており、被災農家の方々が一日でも早く営農

生産に従事できるよう支援して参ります。

昨年を振り返りますと、国際貿易の交渉関係では、米国を除くTPP 11・日欧EPAの大筋合意から交渉委結を発表し、農林水産品では約82%の品目の関税が撤廃され、一部品目ではTPP以上の市場開放を認めざる得ないこととなりました。JAグループ北海道では総合的なTPP関連政策の大綱の改定に反映すべく、国産チーズの競争力強化対策をはじめ万全な国内対策を要請しております。

平成29年度の当JAの実績ですが、青果物販売は11億400万円となり計画より107%と計画以上となりました。中でも主力作物であるミニトマト「太陽の瞳」はシーズンを通して安定的な出荷を行えた事から、販売金額で9億8500万円、計画対比で106・2%となり、部会目標である10億には及ばなかったものの過去最高に達しました。

水稲につきましては、6月の低温と日照不足により生育不良が心配される中、7月以降天候に恵まれ生育は回復し、収穫期における台風18号の稲の倒壊被害で収穫作業が例年より遅れましたが、販売金額は9471万円です。計画対比で118・6%となりました。また、地域ブランドで

ある特別栽培米「万馬券」は2026俵を確保するとともに、ホクレン主催の2017日胆地区「ゆめぴりか」コンテストにおいて金賞を受賞し、今後の米作りの大きな一歩となりました。

畜産物については、酪農と黒毛和牛を中心に12億9300万円となりました。特に黒毛和牛については、最近の市場価格動向を見ますと、枝肉相場・素牛相場共に値下げ傾向にあります。当地区の平均価格で全体82万円です。市場平均価格全体の81万3千円を上回っており、出荷頭数・体型も揃っていることから購買者からの評価が高く、販売金額は6億5252万円の実績で前年単価を下回っておりますが、依然高値安定基調となっております。

基幹作物であります軽種馬につきましては、国内景気の回復感が広がり北海道市場の年間総売上も史上初めて100億円を超え活況を呈しております。静内産馬の市場取引額は、350頭で32億9500万円となりました。また昨年春には静内産馬のG1馬が2頭輩出され更なる活気に繋がる1年となりました。

今年度に向けまして、組合員の高齢化や担い手の減少、農協法の改正をはじめとする国内外における農業政策の変革等により依然として厳し

4月13日、新ひだか町公民館において「第70回しずない農業協同組合通常総会」が開催されました。冒頭挨拶において、西村和夫代表理事組合長より「昨年を振り返る前にまず、本年2月5日・6日の2日間に日本海から低気圧が接近し近隣地域に記録的な大雪の影響を与え、

い状況にある中、地域農業の活性化と持続的に安定化を図るには、今後とも安定的な高収入作目を地域の戦力作目として（ミニトマト・黒毛和牛）として産地の拡大と労働力確保による農業所得の向上を目指して参ります。

本年度の農畜産物取扱計画は、雪害の影響によりミニトマトは前年実績の9億8500円に対し1億6400万円減の8億2100万円の取扱高とし、農畜産物全体の取扱高は前年取扱高24億9300万円に対し2億7900万円減の22億1300万円と致しております。

J Aの合併については、平成22年度以来検討を重ね各J Aが不良債権回収処理・J Aの財務基盤強化を行い、合併できる状況を目指して取り組んできたところであります。しかしながら、担保評価の下落によりさらなる貸倒引当金の積み増しが必要な状況になりました。そのため、合併に向けて長年の課題でありました不良債権の処理について、昨年9月に全国・全道のJ Aグループに支援を要請致しました。支援をいただくには、各J Aの自助努力（抛出）も必要となり組合員の皆様にも一定のご負担を願わなくてはなりません。また、3 J Aだけの合併では支援を受けられないことから健全に経営し

ているJ Aみついしを受け皿とした4 J Aで平成31年2月1日を目標に合併協議を進めて参ります。協議状況については、今後、地区別懇談会等でご説明を申し上げます。ご意見を賜りたいと存じますので宜しくお願ひ申し上げます」と挨拶がありました。

議長には小池孝義氏、藤川靖仁氏が選出され原案通り可決となりました。そして、決議事項として提出された「J A北海道大会決議事項の着実な実践に関する特別決議（案）」を藤村英治理事が朗読し、出席者全員からの満場一致で承認されました。



理事会報告

2月理事会（26日）

1. 特別対策農家の資産処分について
2. 一般農家の長期資金の貸付について
3. 平成29年度事業報告及び未処分利益剰余金の処分（案）について
4. 平成30年度事業計画（案）について
5. 平成30年度固定資産の取得及び処分（案）について
6. 平成30年度役員報酬について
7. 平成30年度職員及び職員給与の改正（案）について
8. 平成29年度内部監査結果および平成30年度内部監査計画について
9. 平成29年度経営定期点検実施報告
10. 平成29年度コンプライアンスプログラム結果報告
11. 平成30年度余裕金の預入先について
12. FinTech企業等との連携及び協働に係る方針の決定について
13. 共済事業の共同実施に関する契約変更について

3月理事会（27日）

1. J A全国監査機構による平成29年度財務諸表に係る監査の実施結果について
2. 道の検査指摘事項に対する回答について
3. 平成29年度決算監査の実施結果について
4. 平成29年度の自己査定結果について
5. 規定類の変更（案）について
6. 組合員による持分の譲渡について
7. 第70回通常総会議案（決算関係書及び部門別損益計算書）について

4月理事会（24日）

1. 平成29年度決算自治監査指摘事項について
2. 平成30年度農業基盤整備促進事業（案）について
3. 平成29年度大雪対応産地緊急支援事業（案）について
4. 理事報酬の支給方法及び支給内容について

平成30年度 産業奨励事業について

平成30年度の産業奨励事業について、以下の通りご案内致します。

■ **事業名** **特別栽培米良食味生産安定対策事業** (事業費：3,920,960円)

■ **事業内容** 当地区特別栽培米ななつほし「万馬券」は、地産地消の代表格とし、新ひだか町民に高く評価されている反面、生産現場においては米価低迷、資材の高騰、米政策の見直しによる農家所得の大幅な減少により水稲作付面積は減少しております。生産者においては「消費者が求める良食味の米づくり」に特化することが必要であることから本事業の取組みにより慣行栽培から特別栽培作付けに移行させること、また「町内への販売率向上」と「慣行栽培と特別栽培面積比率を現状からの20%アップ」を目指し安定生産を推進することにより稲作経営の安定化を目指す。

■ **対象資材** (1) 有機肥料…①有機885 ②有機150

(2) 土壌改良材…①ケイカル ②ケイカリン

※上記の有機肥料及び土壌改良材の投入規準は『施肥ガイドブック』を規準とする。

■ **負担区分**

	町	J A	受益者
負担区分	784,000円(20.0%)	1,176,000円(30.0%)	1,960,960円(50.0%)

■ **事業名** **花卉野菜生産体制強化対策事業** (事業費：90,864,000円)

■ **事業内容** 当地区では、施設園芸の中心を担うミニトマトが、長期にわたる出荷体制が整備されつつあり、実需者からの評価も高く、取引価格の安定に繋がっている。しかし、生産資材価格及び燃料費の値上がりにより、農家経営は依然厳しい状況に置かれている。そのような状況を鑑み、ハウス施設及び加温ボイラーに加え、コスト削減に向けた機材の導入等農業施設の整備を進め、産地形成の充実と農家所得の安定化を図る。

■ **対象設備** (1) ハウス施設…①ハウス施設(100坪) 35棟

(2) ハウス付帯設備…①二重カーテン 35張 ②遮光ネット 17張

③ハウス施工費 35組 ④灌水部材 35組

⑤温風ボイラー(10万kcal) 4基 ⑥温風ボイラー(3万kcal) 4基

■ **負担区分**

	道	町	J A	受益者
産業奨励事業負担	—	3,043,000円 (25%以内)	3,430,000円 (25%以内)	6,086,000円 (50%)
地域政策負担	31,477,000円 (40%)	3,934,000円 (5%)	3,934,000円 (5%)	39,347,000円 (50%)
合計	31,477,000円 (35%)	6,977,000円 (8%)	6,977,000円 (8%)	45,433,000円 (50%)

■ **事業名** **施設園芸作物土づくり支援事業(新規就農者向け)**(事業費：1,200,000円)

■ **事業内容** 当地区におきまして、第1期生から5期生までの新たな農業参加者が就農しており、経営開始時点における新畑栽培では1～3年の使用により地力が衰え作物の収量減少傾向となりつつあり、収量減少による所得低下を防ぐためにも、継続的な土づくりを新規就農者が取り組むことが必要不可欠であることから、本事業により基本的な土づくりを認定新規就農者対象に有機質堆肥の投入による、地力推進による反収並びに品質の向上により経営の安定化を図る。

■ **対象資材** 有機堆肥 (ヒダカノキセキ・新ひだか町和牛堆肥)

■ **負担区分**

	町	J A	受益者
負担区分	240,000円(20.0%以内)	360,000円(30.0%)	600,000円(50.0%)

■ 事業名 **軽種馬農家等経営改善支援対策事業(黒毛和牛貸付事業)**
(事業費：17,100,000円)

■ 事業内容 軽種馬農家等の肉用牛の導入による経営改善を促進するため、農業協同組合に対し町所有黒毛和種繁殖素牛を貸付、又は預託することにより、土地利用型農業の確立と農業経営の安定を目的としている。

■ 対象事業 (1) 繁殖素牛導入 15頭
(2) 繁殖牛更新 4頭

負担区分	町	J A	受益者
繁殖牛導入	13,500,000円	—	—
繁殖牛更新	3,600,000円	—	—
合計	17,100,000円	—	—

昨年より黒毛和牛の素牛市場相場は、値下げ傾向にありますが、当地区は出荷頭数・体型も揃っていることから、購買者の評価が高く高値安定基調となっております。

(※取引結果については、安平町・ホクレン南北海道市場でのもの。)

**黒毛和牛素牛
市場販売成績**
(平成30年1月市場~5月市場)

平成30年1月市場 (1月10日開催)

販売頭数 51頭 (去勢 29頭 めす 22頭)
販売金額 41,046,480円 (去勢 24,298,920円 めす 16,747,560円)
平均価格 804,833円 (去勢 837,894円 めす 761,253円)

平成30年2月市場 (2月8日開催)

販売頭数 64頭 (去勢 35頭 めす 29頭)
販売金額 46,928,160円 (去勢 28,024,920円 めす 18,903,240円)
平均価格 733,753円 (去勢 800,712円 めす 651,836円)

平成30年3月市場 (3月7日開催)

販売頭数 65頭 (去勢 34頭 めす 31頭)
販売金額 51,095,880円 (去勢 28,803,600円 めす 22,292,280円)
平均価格 803,768円 (去勢 867,420円 めす 743,466円)

平成30年4月市場 (4月4日開催)

販売頭数 78頭 (去勢 47頭 めす 31頭)
販売金額 62,519,040円 (去勢 40,385,520円 めす 22,133,520円)
平均価格 801,526円 (去勢 859,266円 めす 713,985円)

平成30年5月市場 (5月10日開催)

販売頭数 72頭 (去勢 38頭 めす 34頭)
販売金額 55,852,200円 (去勢 31,877,280円 めす 23,974,920円)
平均価格 775,725円 (去勢 838,876円 めす 705,145円)

Aコープしずない店からのお知らせ

日胆地区 金賞受賞（ゆめぴりかコンテスト2017）

JAsしずない ゆめぴりか いよいよ発売！

Aコープしずない店では、昨年行われました「ゆめぴりか地区コンテスト2017」の日胆地区で見事金賞を受賞しました「JAしずない ゆめぴりか」を6月より数量限定で販売します。



「ゆめぴりか」は平成22年以来、米の食味ランキングで特A評価を獲得し続けており、その中から最優秀を決めるために始まったのが「ゆめぴりかコンテスト」です。このコンテストの「地区金賞」は道内各地区で最優秀に選ばれた証でもあります。静内稲作振興会がより良いコメを作ろうという長年の努力と気持ちが込められた「JAしずない ゆめぴりか」を是非この機会にご賞味ください！

日胆地区金賞受賞

「JAしずない ゆめぴりか」
5kg 2,680円

※発売は6月初旬を予定しておりますが、販売状況により販売時期が早まる可能性があります。詳細はAコープしずない店にお問い合わせください。

お問い合わせ先 Aコープしずない店 TEL 0146-46-2885 FAX 0146-46-2887

※日曜日は、携帯 080-2864-1048 (受付時間 午前9時～午後5時)まで、お問い合わせ頂きますようお願い申し上げます。

プラズマローゲンについて

≡ 脳の健康とプラズマローゲンの関係 ≡

NPO法人日本サプリメント臨床研究会の情報誌によるとアルツハイマー病は、介護する家族の問題だけではなく、社会問題に発展するケースも多くみられます。最大の原因と考えられているアミロイドβの蓄積から、アルツハイマー病発症の10～20年前（40代頃）から始まるとされ、これまでの研究から、すでにアルツハイマー病患者の脳でプラズマローゲン量が減少することが明らかになっています。

さらに、プラズマローゲンとアルツハイマー病発症の関係について研究をしたところ、老人斑形成に関わるアミロイドβを抑えること、同時に脳内での炎症を抑えることがわかりました。

そこで、高濃度プラズマローゲンを配合したサプリメント「プラズマローゲンGOLD1000」をAコープしずない店で、今後取扱いを始める予定です。

取扱開始時期等についてはAコープしずない店にお問い合わせください。



平成30年度の ホッカイドウ競馬が 開幕しました！

ホッカイドウ競馬

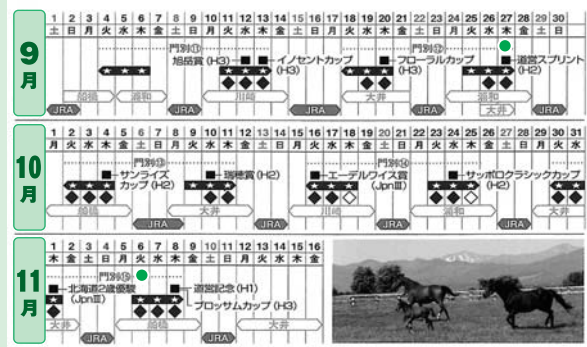
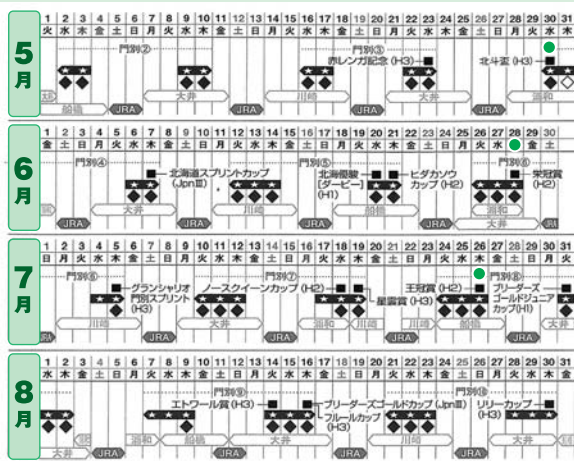


News Vol. **14**

4月18日から今年度のホッカイドウ競馬が開幕しています。昨年度も皆さんから多くのご支援があり、5年連続の黒字収支という結果になりました。

ホッカイドウ競馬は、馬産地日高にとって非常に重要な産業です。今年度も皆さんの応援を宜しくお願いします。

ホッカイドウ競馬 開催日程



今年度のAiba祭の日程(予定)は、以下の通りとなっております。多くの皆さんのご来場をお待ちしております。

- 5月30日(水)
- 6月28日(木)
- 7月26日(木)
- 9月27日(木)
- 11月6日(火)

※カレンダーの●印は
Aiba祭開催日



平成30年度 軽種馬市場開催日程

今年度の軽種馬市場の開催日程が、以下の通りとなっておりますので、お知らせ致します。

開催日	市場	対象	会場
5月22日(火)	北海道市場トレーニングセール	2歳	J R A 札幌競馬場
7月9日(月)	セレクトセール2018	1歳	ノーザンホースパーク
7月10日(火)	セレクトセール2018	当歳	
7月17日(火)	北海道市場セクションセール	1歳	J B B A 北海道市場
8月20日(月)	北海道市場サマープレミアムセール	1歳	J B B A 北海道市場
8月21日(火)～24日(金)	北海道市場サマーセール	1歳	J B B A 北海道市場
10月1日(月)～3日(水)	北海道市場オータムセール	1歳	J B B A 北海道市場
10月24日(水)	ジェイエス繁殖馬セール	繁殖	J B B A 北海道市場
1月23日(水)	ジェイエス繁殖馬セール	繁殖	J B B A 北海道市場

宮農課からのお知らせ

「巡回ドック」と「人間ドック」のご案内

平成30年度の「巡回ドック」及び「人間ドック」につきましては以下の通り実施致しますので、この機会にご自身、ご家族の健康管理のため受診をお勧め致します。

40歳から74歳の国保の方には「特定健診助成券(1,500円負担)」、75歳以上の方には「後期健診診査券(無料)」、40歳から74歳の無料クーポン対象者の方には「各がん検診助成券」が新ひだか町よりそれぞれ届いていることと思いますので、各種健診をお考えの方は、大切に保管をお願い致します。

※30年度より、特定健診自己負担1,500円がかかります。後期健診は無料です。

※無料クーポン対象者でない場合、受診券は発券されません。受診する場合は受診券の発券が必要になります。

巡回ドック

(1) 健診日 平成30年9月5日(水) ※申込期日 平成30年8月1日(水)

(2) 受付時間 午前7時～午前8時30分

(3) 会場 日高生産連ビル3階

(4) 助成金 組合員とご家族の方を対象に1名2,100円

(5) 巡回ドックコース健診料について

基本健診料16,200円

■特定健診受診券、各がん検診助成券を使用した場合
年齢40歳～74歳の方…5,229円

■後期健診診査券、各がん検診助成券を使用した場合
年齢75歳以上の方…4,064円

※各がん検診の「単独健診」も受付致します。



人間ドック

(1) 健診日 平成31年1月15日(火) (定員30名) ※申込期日 平成30年9月25日(木)
平成31年1月17日(水) (定員20名)
※胃検査を内視鏡で希望される方は、各日先着10名のみの受付となります。

(2) 会場 札幌厚生病院健診センター

(3) 送迎バス 乗車場所…JAしずない野菜集出荷センター
出発時間…午前5時30分

(4) 助成金 組合員とご家族の方を対象に1名5,000円

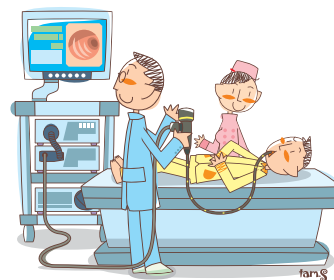
(5) 人間ドックコース健診料について

基本健診料31,320円

■特定健診受診券、各がん検診助成券を使用した場合
年齢40歳～74歳の方…20,349円

■後期健診診査券、各がん検診助成券を使用した場合
年齢75歳以上の方…18,957円

※オプション検診は別料金となります。



問い合わせ先

JAしずない営農部営農課(担当:保土沢)

TEL 0146-42-1051 FAX 0146-42-7034